



平成 25 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
代表者の役職名 取締役社長 石黒文博
(JASDAQ・コード番号8747)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 多々良孝之
電 話 番 号 (03)3667-5211(代表)

平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計期間(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

(1) 連結

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成 25 年 3 月期第 1 四半期累計) (A)	795	△277	△278	△191
当第 1 四半期連結累計期間実績見込み (平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計) (B)	1,321	34	73	39
増減額 (B-A)	526	312	352	231
増減率 (%)	66.1	—	—	—
(参考) 平成 25 年 3 月期実績	4,435	173	111	△147

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 1 四半期連結累計期間(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)においては、日本銀行による 4 月 4 日の黒田新体制下の金融政策決定会合において「量的・質的金融緩和」、別名「異次元金融緩和」の導入が発表されたことから、景気動向に対し明るい兆しが見え始めました。一方、世界経済は、米国では改善の兆しが見られるものの、新興国経済の減速感が鮮明になるなど、先行き不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の出来高は 361,812 枚(前年同期比 26.6%減)及び金融商品取引等の出来高は 803,727 枚(前年同期比 133.2%増)となり、受取手数料は 1,177 百万円(前年同期比 53.7%増)、売買損益は 134 百万円の利益(前年同期は 17 百万円の利益)となる見込みであり、営業収益は 1,321 百万円(前年同期比 66.1%増)、経常利益 73 百万円(前年同期は 278 百万円の経常損失)、四半期純利益 39 百万円(前年同期は 191 百万円の四半期純損失)を計上する見込みであります。

なお、取引所株価指数証拠金取引「ゆたか CFD」の管理体制を整え、取り扱い店を 6 店に拡大し、新規委託者を獲得したことにより、「ゆたか CFD」の総売買高が 378,020 枚(前年同期 375,678 枚増)となり、受取手数料が 211 百万円(前年同期 209 百万円増)、売買損益が 58 百万円の利益(前年同期は 0.1 百万円の損失)となる見込みであります。

以 上